

## 役員・議員の皆様へ

本来であれば私が直接ご報告すべきであることは重々承知しておりますが、本日は治療の関係で、無理をしないようにとの医師の勧めもあり、メッセージでのご報告となることをお許しください。

私の尊敬する大先輩・野村前会頭より会頭職を引き継いで早6年近くが経過いたしました。この6年を振り返ると、駄句ではありますが、次の一句が浮かんでまいりました。

「やはりいた サクヤヒメ達 六歳（むとせ）経つ」

サクヤヒメとは、日本神話に登場する神で、桜が咲き誇るような絶世の女神とされております。

この6年、「大阪には多くの隠れた資産があり、まだまだ元気になる」と、そのポテンシャルを信じ、副会頭はじめ役員・議員、会員企業、行政、他の経済団体、市民など多くの皆さまと連携・協働して、全員参加で『千客万来都市OSAKAプラン』を推進してまいりました。

その結果、観光を中心に、ライフサイエンス、販路創造など、ビジョンに掲げた様々な分野が、まるで神話のなかの登場人物とされるサクヤヒメが目覚め、大阪のあちらこちらで咲き誇るかのようにその実力を発揮し始めており、大阪が賑わってきたことを私自身も実感しています。大阪には神話とされているサクヤヒメが本当にいたのであります。

この賑わいをさらに大きなものにしていくには、大阪商工会議所としても現状に満足せず、新たな策を講じていかなければなりません。また、13年後の創立150周年も視座に置き、新しい発想を持って大阪・関西の活性化に向け、大阪商工会議所として何ができるのかを考えなければならないときでもあります。

こうした現状と未来を考えたとき、私は今こそ会頭の職を、新しい発想と行動力を伴ったしかるべき方へ引き継ぐのにふさわしい時期であると判断いたしました。

後任には、副会頭で大阪ガス会長の尾崎 裕（おざき ひろし）氏を、12月開催予定の臨時議員総会で推挙いたしたいと考えております。

尾崎氏をご承知のとおり、大阪ガスの経営トップとしてその手腕を如何なく発揮されており、財界活動においても、これまで副会頭として私を補佐いただくなど、その経験、実績共に申し分ありません。

今後の大阪商工会議所、そして大阪・関西を担う新たな時代のリーダーとして尾崎氏には大いに期待しております。

平成27年11月20日

大阪商工会議所  
会頭 佐藤 茂雄